

# 飯舘 百景

## 錦秋の点描

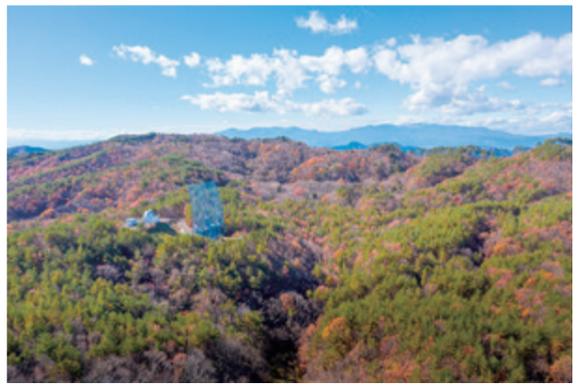
佐藤宣征さんの田んぼに懐かしい景色がよみがえりました。束ねた稲を天日と自然風で乾燥させる「はさがけ(稲架掛け)」と「つくしがけ」。秋の陽射しと周辺の紅葉も相まって、心和む風景が広がっていました。(11月4日)



『いたてスポーツ公園』の遊歩道もカラフルに



綿津見神社の参道の紅葉も錦の彩り



東北大学「惑星圏飯舘観測所」(前田地区)周辺の紅葉

佐藤宣征さん(前田・八和木)が、稲刈りを行っていたこの田んぼは、今年3月に返却された元仮置き場だそうです。ここで稲作を再開するにあたって、「せっかくだから昔のやり方でやってみよう」と、手を使った米作りに取り組みました。品種は「ひとめぼれ」。猿が多く出没するため、音の出る機械を置いて対策しました。

この日の稲刈りには、飯舘村地域おこし協力隊の松本奈々さん(深谷)、松尾洋輝さん(大久保・外内)らが参加し、まていな作業を体験していました。刈り取られた稲は、「はさがけ(稲架掛け)」「つくしがけ」に。佐藤さんは「パイプの部分も木材だともっと味が出るんだけどな」と少し惜しいと話していました。

11月に入って、村内では、一段と紅葉が進み、澄み渡った青空の下に、秋景色が広がりました。

センター地区では『いたてスポーツ公園』の遊歩道が紅葉に彩られています。綿津見神社の参道のモミジも色づいて、お社を厳かに引き立てていました。

前田地区の空撮写真はため池工事の撮影を行った際に遠景で捉えた1枚です。色づいた山並みの中にふっと現れた東北大学「惑星圏飯舘観測所」の大きなアンテナ。ダイナミックな紅葉の風景です。